

京都女子大学

平成 21 年度大学院家政学研究科（博士前期課程）生活福祉学科

入学試験問題

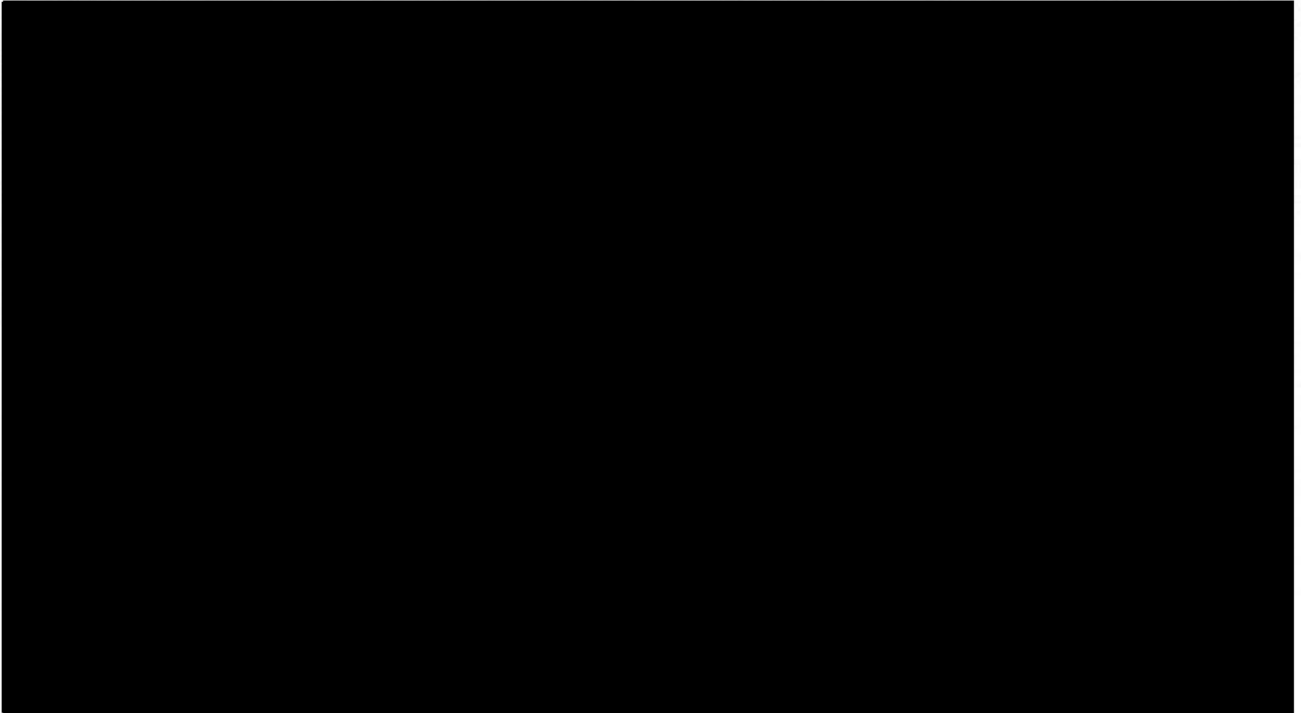
英語

2008 年 10 月 4 日実施

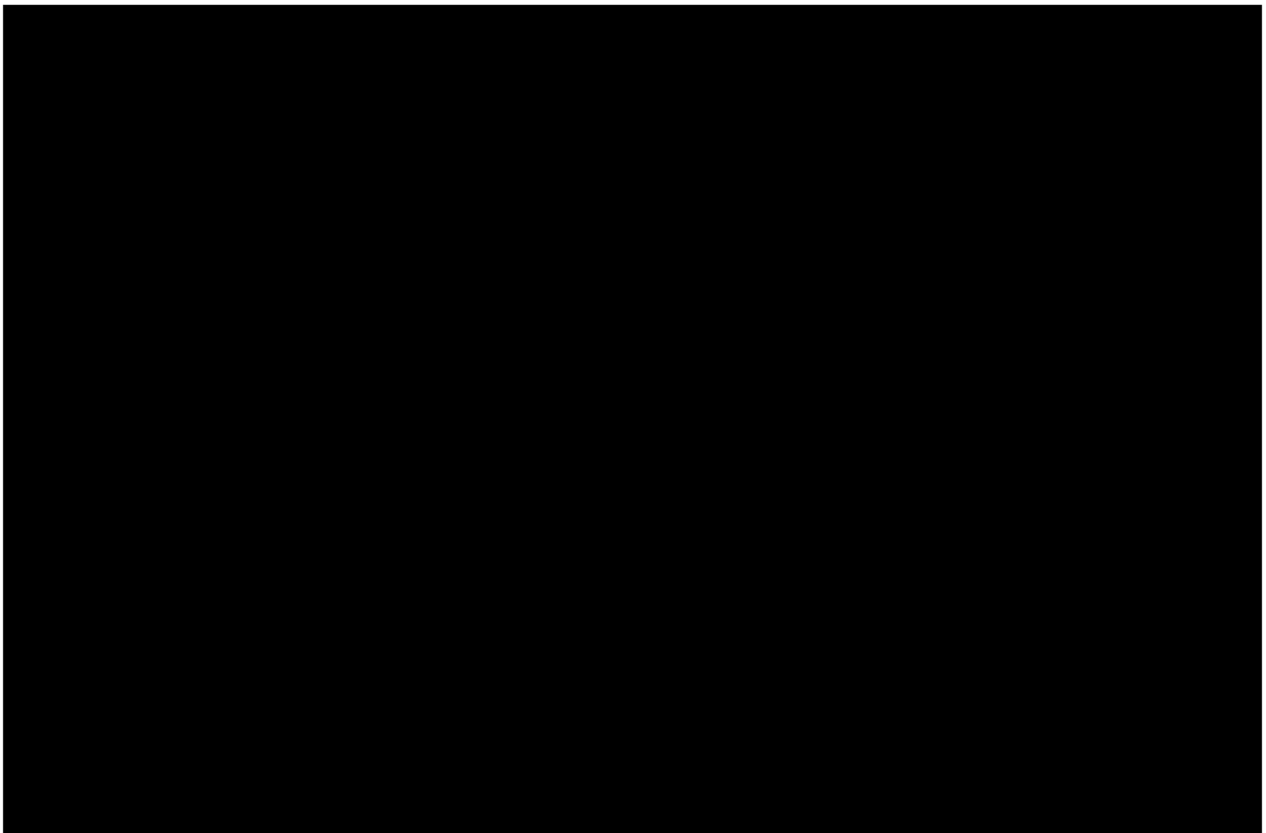
（辞書使用可。但し電子辞書を除く）

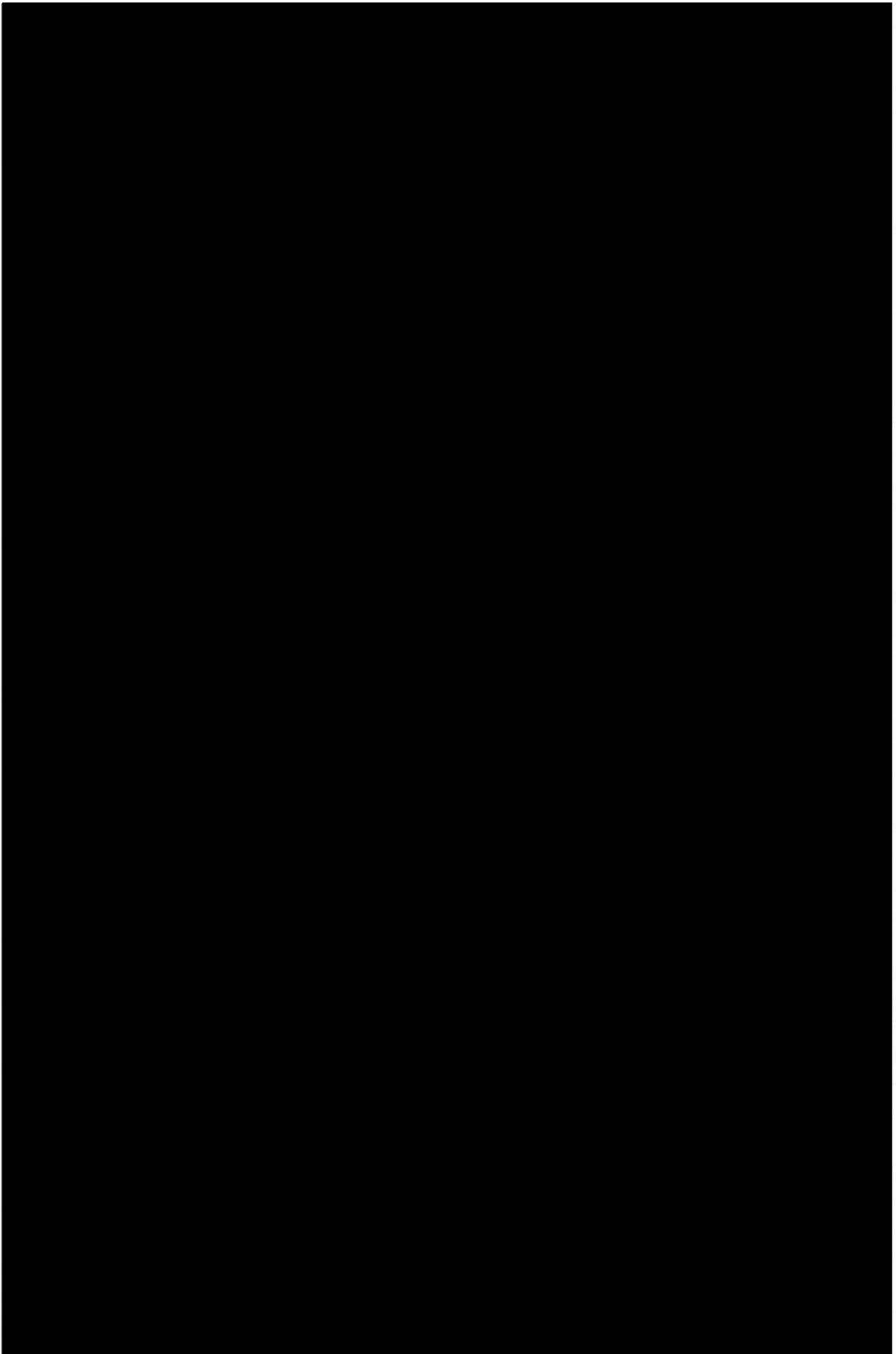
次の英文 I, II はいずれも Julius Caesar (July 13, 100 BC – March 15, 44 BC) が暗殺された翌日の状況を題材にしている。両文章を読んで、下記の 1. ～ 9. の問いに答えなさい。

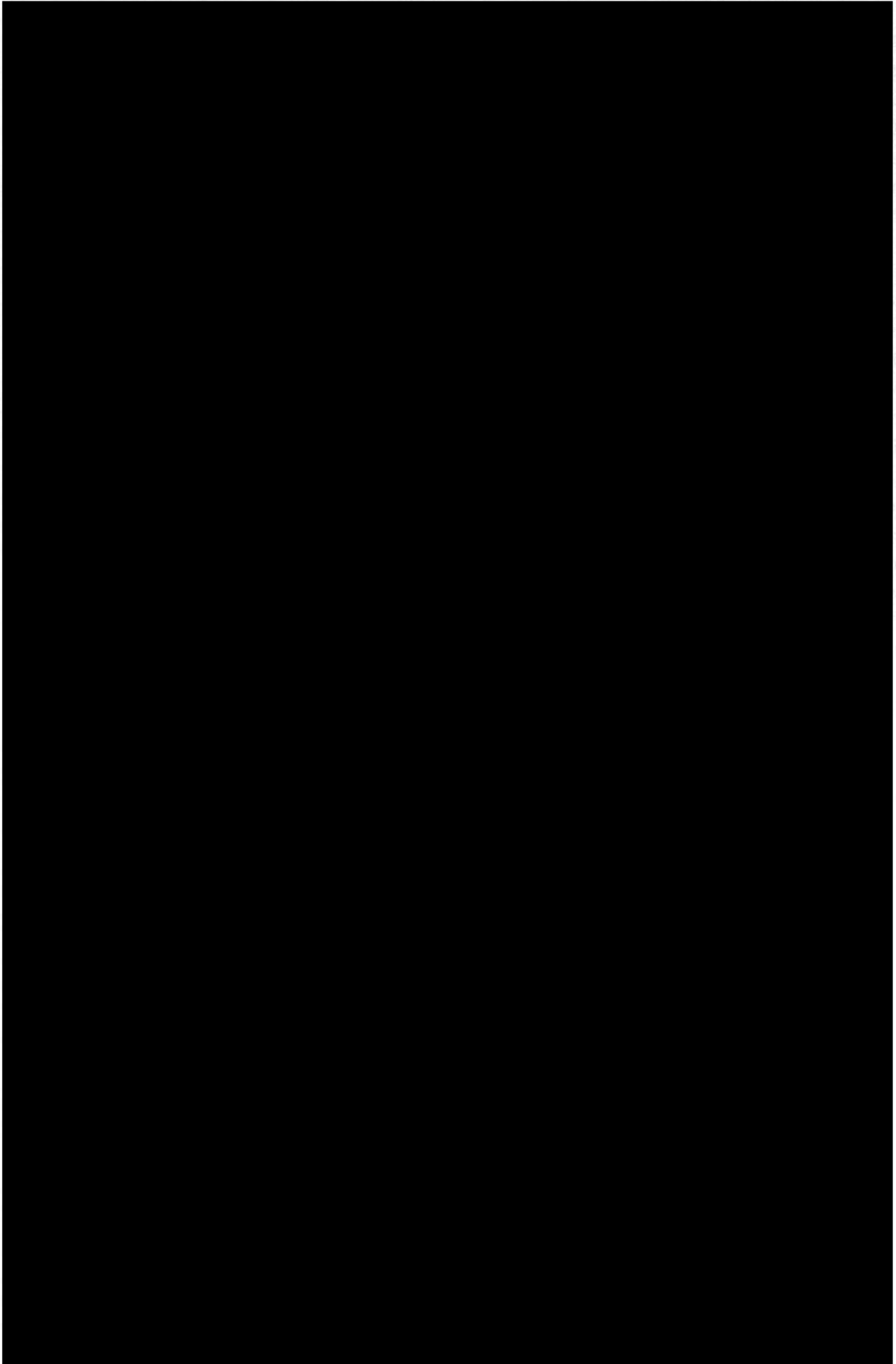
英文 I

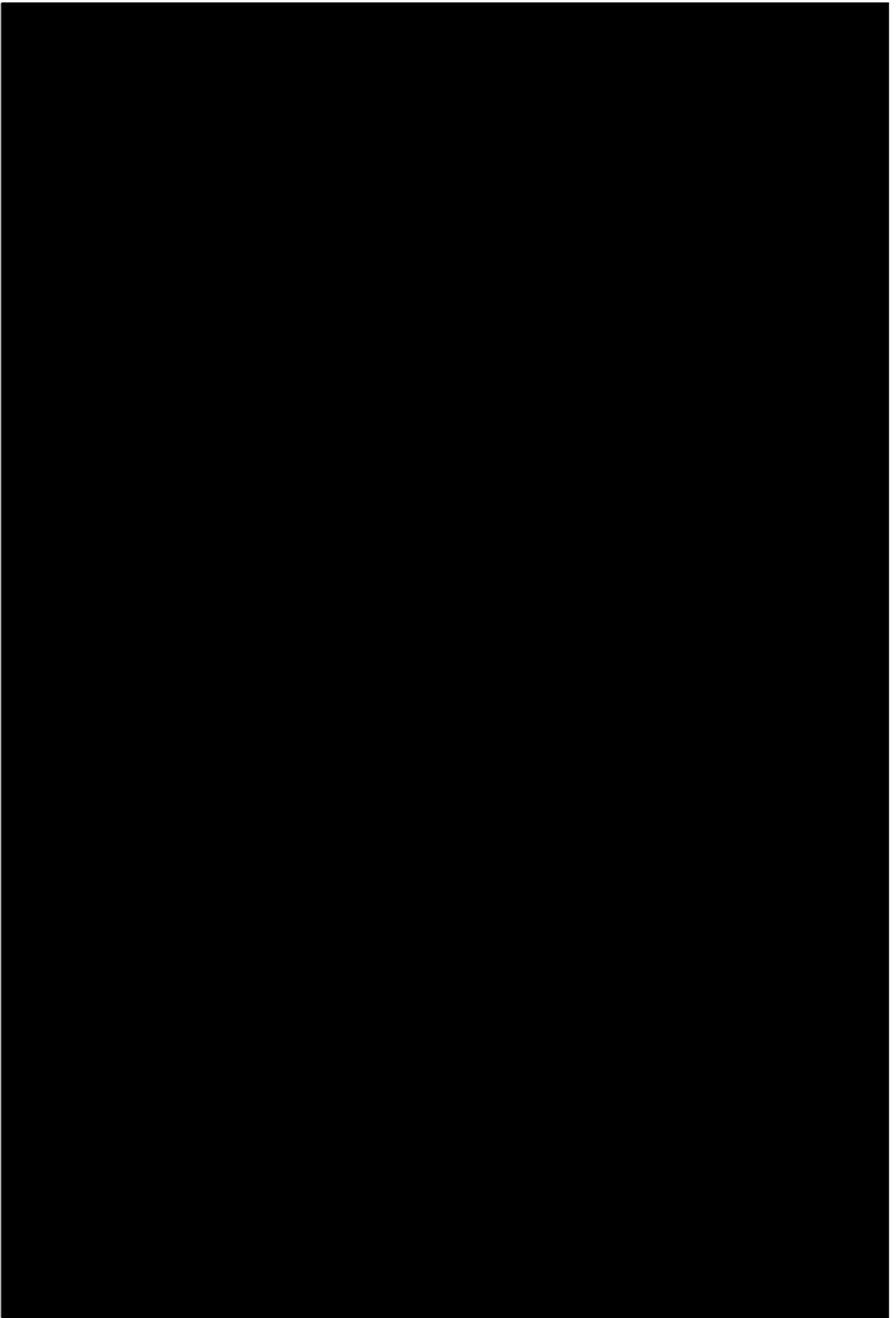


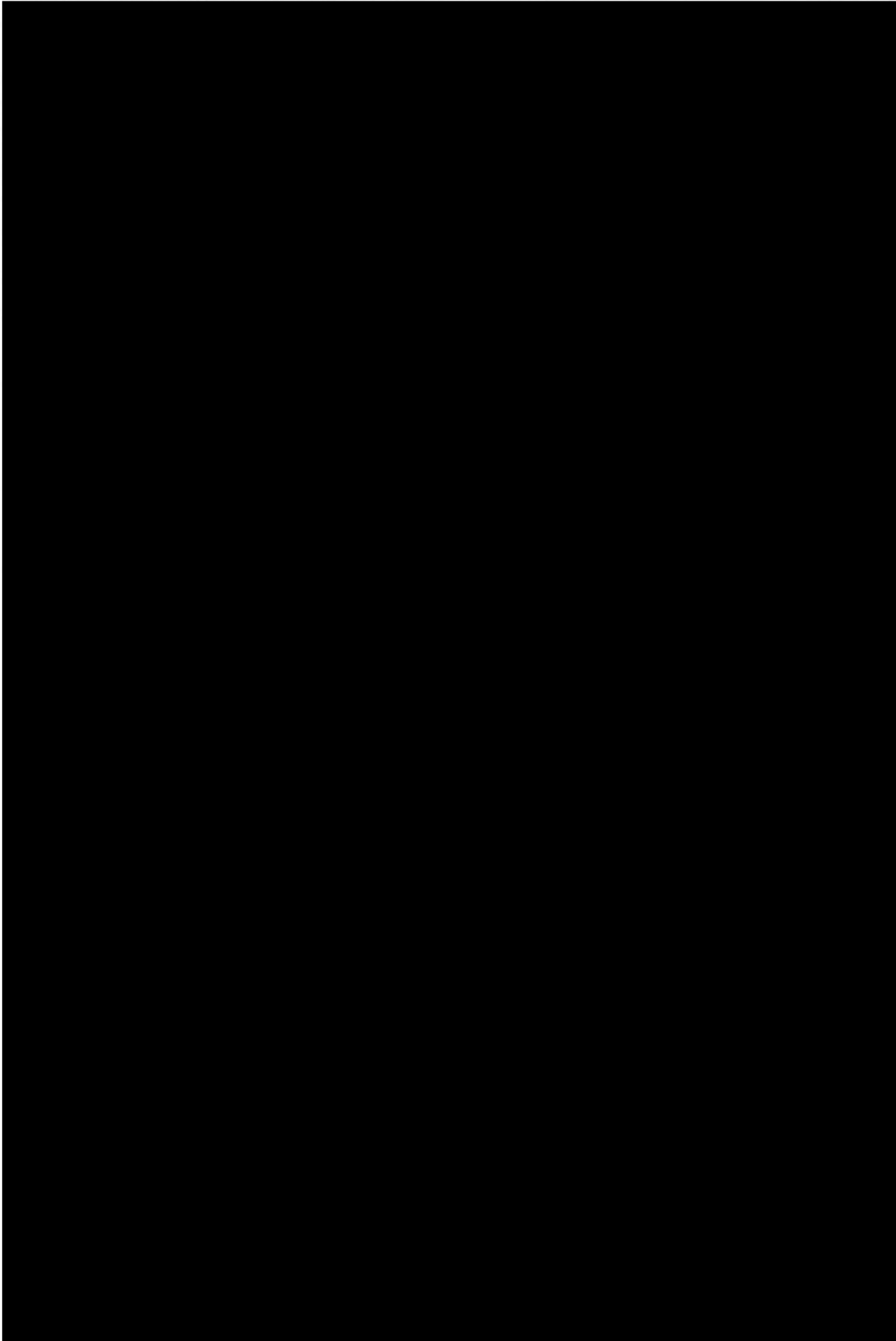
英文 II











問

1. 3 頁左欄、下線部 (1) _____ を和訳しなさい。
2. 4 頁左欄、下線部 (2) _____ を和訳しなさい。
3. 制作年から考えて英文 I と英文 II はどのような関係にあるかを想定して、考えを述べなさい。

<以下の回答は英文でも可とする>

4. Brutus は Caesar のことを 2 頁左欄、下線部_(A) で he was ambitious と称して、そのことを Caesar 殺害の大儀としている。Ambitious とはどのようなことを Brutus は意味するのかを説明しなさい。
5. Brutus の演説に対して当初ローマ市民はどのような反応を示したかを説明しなさい。
6. 4. の Brutus の意見に対して Antony は具体例を挙げてそれを否定した。英文 II から具体例をとりあげ 4 つ列記しなさい。
7. Antony は Brutus のことを再三 an honourable man と表現している (2 頁右欄、下線部_(B) an honourable man 以降何カ所も)。この意図についてどう考えるか述べなさい。
8. Antony のローマ市民の心をとらえ、当初からは別の方向へ導いた。その優れた手法について説明しなさい。
9. 英文 II をどのような人に読ませたいか、1 例を挙げ、その理由を説明しなさい。

